

国分寺農業のこれまでとこれから

参加者 募集

参加費無料

こくベジのじかん KOKUVEGE SYMPOSIUM

こくベジ未来会議

人口約13万人の、国分寺。

このまちでは、300年前の新田開発の時代から培われてきた農業があり、まちの風景や人のつながりを育んできました。

都市化が進む現代で、畑とともにある暮らしを大切にしてきた人々の思いや工夫が、

今の「こくベジ」へつながっています。

今回の「こくベジ未来会議」では、国分寺農業の歴史を振り返りながら、

その価値や魅力をあらためて見つめ直します。

そして、これからの農とまちの関わり、次の世代へとつなぐ

地域の未来について、参加者みんなで語り合います。

国分寺で暮らす、食べる、つくる——。

その原点とこれからを、一緒に考える時間を過ごしてみませんか？

こくベジとは
国分寺市の農家が販売目的に生産した農畜産物の愛称です。2015年から地産地消のプロジェクトとして始まり、現在、市内約100店舗の飲食店でこくベジオリジナルメニューを味わえます。

知り、考え、話す、こくベジのこと。

2025
12.14 sun
14:00-16:30

| 場所 | cocobunjiプラザ・リオンホール

12/2(火)～申込み開始

参加申込み



- ①当日、アンケート回答でこくベジマグネットをプレゼント ②当日、参加者の中からこくベジセットプレゼント
③こくベジオリジナルグッズ販売 ④同日開催・11時～16時 こくベジマルシェ @ 国分寺駅北口駅前イベント広場

主催：こくベジプロジェクト推進連絡会（JA 東京むさし国分寺支店／国分寺市商工会／（一社）こくぶんじ観光まちづくり協会／国分寺市）